



岡村泰明県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

中小企業金融対策を国・県へ要望

知事親書で融資円滑化を要請へ



自民党を代表して質問に立つ岡村泰明県連政調会長

■四街道市特集■ 自民党代表質問

自民党県連の政務調査会長を務める四街道市選出の岡村泰明(おかむら・やすあき)県議は、二月県議会で自民党を代表して、県政の当面の重要課題を取り上げ、堂本知事や県執行部の方針をただしました。この中で、岡村県議は、世界的な金融危機から、景気が危機的状況にあるとし、経済と雇用対策を真っ先に取り上げ、特に金融機関による中小企業者への貸し渋り問題の解決を目指し、円滑な融資に向け、国や県が積極的な融資制度改善のPRを行うよう強く求めました。

このほかにも、県政運営の基本となる財政問題、成田空港問題、地域医療問題などを取り上げました。主な質疑を1、2面で特集します。

岡村議員 中小企業の資金繰りに関し、わが党県連では、経済産業省の二階大臣を訪ね、金融機関への指導徹底や制度融資活用の一層の周知を図るよう、要望したところ。金融庁の監督指針の改定を受け、県内中小企業者のために、県はこれを積極的に周知していくべきと思うがどうか。

堂本知事 今回の改訂は、経営を健全化させるような「経営改善計画」があれば、金融機関が返済期間の延長等の条件変更に応じても不良債権にならないというものです。最近の急激な売り上げ減少は、特に借入金返済計画に深刻な影響を与えるものであり、今後の景気回復の見通しが不透明な

状況では、中小企業者が制度改善の内容を十分理解して、経営改善の意欲を積極的に金融機関にアピールしながら交渉することが重要です。そこで、県としては今後、この概要を県のホームページに掲載したり、融資相談の機会などに説明するとともに、商工会議所等の機関紙に掲載を依頼するなどして、その周知を図ってまいります。

岡村議員 貸し渋り、貸し剥がしの苦情はあるのか。あるとすれば、どう処理しているのか。

堂本知事 昨年八月から十二月までの五カ月間の取りまとめ結果では、苦情件数は合計五十件で増加傾向にあります。この内容は、県制度融資取り扱い金融機関等に提供し、適切な運用を促すとともに、これらの金融機関に

要望 金融庁の改定内容が、市町村や商工団体に十分浸透していない。これを活用すれば、倒産せずに済んだ中小企業者もいると思うので、周知をお願いしたい。

また、ある業界団体がまとめた資料によれば、中小企業者が貸し渋り等により、切羽詰った状況になっているのがよく分かるが、この中には信用保証協会も入っている。ぜひ知事の方からも、こうしたことのないように申し入れしてもらいたい。



二階通商産業大臣と中小企業対策を語る岡村県議

「検討着手は感慨深い」

成田空港の容量拡大で

岡村議員 成田空港の発着容量三十万回への検討が着手されたことについて、知事の見解はどうか。

堂本知事 今回の四者協議会の合意として更なる容量拡大の検討に着手できたことは、感慨深いものがあります。わが国の一層の国際競争力の維持・強化はもとより、将来の地域と成田空港のあり方を考えていく上で、大きな前進と感じています。

今、地域と成田空港がさらなる発展を目指し、活力にあふれた「成田国際空港都市」という新しいステージを作り上げていくためにも、四者の十分な連携のもとに、環境対策、地域共生策の一層の充実を図り、早期に地元の方々のご理解が得られるよう取り組んでいく必要があると考えています。

県政や四街道市のご相談や要望をお寄せください。岡村やすあき県議事務所 TEL/FAX.043(423)0103

●HPもご覧下さい。ちば自民党 ⇒ 議員リスト ⇒ 県議会議員 ⇒ 四街道市

医師不足対策で定員10人増へ

■四街道市特集■ 自民党代表質問

再編 高校 特色ある教育課程整備を

岡村議員 県立高校の再編計画の実施状況はどうか。

教育長 県教育委員会では、平成十四年度に県立高校再編計画を策定し、第一期から第三期までの実施プログラムにより、段階的に高校再編を実施しています。

今年度までに二十六校十三組の統合をはじめ、高一貫校、三部制定時制高校、通信制独立校等を設置し、学校規模や配置の適正化、生徒の学校選択幅の拡大などを進めてまいりました。

現在、これらの学校について、学校や地元の見解を聞きながら、それぞれの再編の趣旨を踏まえて、特色ある教育課程づくりや良好な教育環境の整備を順次進めているところです。

岡村議員 今後の再編計画をどのように考えているのか。

教育長 県教委は再編計画の成果や課題を検討するため、平成十九年度から外部委員による「評価委員会」を設置し、その指導や助言を受けながら実施状況の評価を進めています。

このたび、第一期実施プログラムを中心とする対象校について、中間報告を取りまとめました。評価委員

会の評価としては、(1)再編計画は、計画通り順調に実施されており、総じて魅力ある学校づくりが進められている

農業産出額全国2位を奪還

岡村議員 平成十九年の農業産出額について、知事はどのように受け止めているのか。

堂本知事 平成十九年の農業産出額が四年ぶりに前年を上回り、本県が目指してきた「農業産出額全国2位」を奪還することができました。これは、本県農業の本来の底力と農業者の意欲の現れであると誇りに思っています。

(2)単位制高校などについては、より一層丁寧かつ分かりやすい広報活動が必要なことなどが指摘されておりあります。

この2位の座を確保するためには、園芸の盛んな茨城県や畜産が盛んな鹿児島県に打ち勝つていく必要があります。

このため、豚のブランド化の推進などによる畜産振興をしっかりと行うとともに、新たな産地づくりや施設などの園芸振興を戦略的に進めていくことが重要だと考えています。



本会議場の自席から再質問する岡村県議

広域救急搬送体制を整備

岡村議員 救急医療体制の現状と今後の対応はどうか。

副知事 本県では、医師不足等により、二次救急や重篤患者を受け入れる三次救急の医療体制が弱体化している地域が生じています。このため、この一月から君津中央病院を基地とする二機目のドクターヘリの運航を

開始し、県全域を概ね十五分でカバーする広域救急搬送体制の強化を図ったところで、

さらに、東葛飾地域では、県の救急医療センターに救急コーディネーターを配置することを検討しております。山武長生地域及び香取海浜地域は、現在、医療関係者や消防機関と協議を進めているところであり、できるだけ早く地域の実情に即したコーディネーターの配置に努めてまいります。

岡村議員 新たな医師確保対策の検討はどうか。

副知事 県は平成二十一年度から、千葉大学医学部の学生五人に修学資金を貸し付け、卒業後、原則として九年間、知事が指定する

さらに、修学資金制度の改善により、将来は県内で従事する医師を、毎年十名ずつ養成していく予定です。

自民党代表質問の項目

1. 経済対策及び雇用対策について
2. 財政問題について
3. 成田空港問題について
4. 北総線運賃問題について
5. 医療問題について
 - ・救急医療対策
 - ・千葉県の医師確保対策
6. 消費者行政について
7. 農業問題について
8. 道路問題について
9. 都市整備問題について
10. 教育問題について
11. その他

地域の声を県政にて
自民党を代表して
岡村やすあき
県議

岡村やすあきプロフィール

経歴

- 昭和19年11月 生まれ
- 昭和38年3月 佐賀高校卒業
- 昭和42年3月 専修大学経済学部卒業
- 昭和51年4月 四街道町(市)議会議員初当選(6期連続当選)
- 平成8年11月 県議会議員初当選
- 平成11年4月 県議会議員再選
- 平成15年4月 県議会議員3選
- 平成19年4月 県議会議員4選

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会
- 千葉県 国土利用計画地方審議会
- 自民党 県連 政調会長



大日交番移転の費用が、平成21年度県予算に組み込まれました。